

支所だより

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

体も心も元気ハツラツ！

～いきいき歌体操～

吉岡公民館では、毎週火曜日の午前9時30分から「いきいき歌体操」教室が行われています。2階のホールで、元気な歌声に合わせて体を動かす生徒の皆さんを指導しているのは、地元・安用の福田榮之輔さん（92歳）。

福田さんは大阪での会社勤めの後、社会奉仕を志してシルバーアドバイザー講座で歌体操を習得しました。その後、グループを結成し、指導者として福祉施設を中心に歌体操の指導にあたるなど、社会奉仕活動を長年にわたり続けられました。



指導中の福田さん（右端）

平成19年4月の郷里西条への帰西後、多くの方にいつでも健康でいてもらいたいとの強い思いから、同公民館での「いきいき歌体操」教室開講に至りました。少人数でスタートした教室も口コミでみるみるうちに生徒数が増え、現在では吉岡公民館で最大のサークルとなっています。

歌体操とは、まず唱歌や童謡・歌謡曲などを4～5曲歌い、次に深呼吸をします。そして、指の柔軟度を増し脳の活性化を促す指体操の後、基本体操や若返り体操などを行い、深呼吸の後に「今日の日はさようなら」を歌って終了となります。所要時間は途中休憩を挟み約2時間。誰でも簡単にできるので大好評。他地区からも生徒が駆けつけています。あなたもぜひ一度、教室をのぞいてみませんか。



地域の敬老会でも元気な活動を発表

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

草の根の国際交流

～丹原町国際交流協会～

国際的な視野と実践力を備えた人材を育成し、世界の人人々との相互理解と友好親善を図るとともに、活気ある開かれた地域社会の形成に寄与することを目的に、平成8年3月に設立された「丹原町国際交流協会（佐伯武廣会長・会員65名）」。

設立当時から、愛媛銑鉄鋳物工業団地内の企業が受け入れた中国人研修生など、地域に在住する外国人との交流を目的としたホームステイの受け入れや交流の集い・中国語講座などを定期的に開催して



外国人による日本語スピーチ出場者の皆さんと協会関係者

おり、こうした活動を通じて身に付けた語学により、自分の考えを交換し合うなど相互理解を深めています。

また、今年度で12回目を数える「国際交流スピーチコンテスト」では、小学生の国際交流に関する作文発表や、中学生・高校生の英語スピーチ、また外国人の日本語スピーチ、そして日本人による中国語や韓国語スピーチなどを実施しています。

丹原町国際交流協会では交流の機会を多くすることで、日本人も外国人もお互いが安心できる「出会いの場所」づくりや他団体との交流など活動内容の充実も図っています。

（問合せ）事務局・児玉（TEL 0898-68-0246）



日本人による外国語スピーチ出場者の皆さんと協会関係者

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

優雅で力強い^{こと}箏の旋律

～小松高校日本音楽部～

創部26年目を迎えた小松高校の日本音楽部。昨年の県高等学校総合文化祭で優秀校に輝き、8月に富山県で開催される全国高等学校総合文化祭に8回目となる出場を決めました。主力メンバーであった3年生が卒業した現在、1・2年生の部員11人は、元同校職員の嶋崎祥子さんの指導のもと、日々の練習に励んでいます。

繊細な美しい音色の箏と力強く響く17絃のベース箏、そして三味線の響きによる調和のとれたハーモニーを完成させるため、「努力・集中・和・感謝」をモットーに一人一人が自らのレベルを上げるべく精進しています。

部員の皆さんは、さまざまな式典に出演したり、毎年数回は老人ホームなどでのボランティア演奏活動も行ってい

ます。去る1月にも小松町内の老人保健施設で、50人余りの入所者の皆さんに約1時間の熱演を披露しました。映画音楽やロシア民謡などを優雅で力強い箏の音色で奏で、さらに日本情緒を表現した「さくらさくら」や「荒城の月」などの演奏では、聞き入っていた皆さんも箏と三味線の伴奏に合わせて一緒に歌い、楽しく懐かしいひとときを過ごしていただきました。

四半世紀にも及ぶ日本音楽部の伝統を受け継ぐ部員の皆さんのひたむきな努力が実を結び、今年の夏休みが一息忘れられない素敵なものとなるよう、心から祈っています。



さらなる高みをめざして続く練習



老人保健施設でのボランティア演奏